

那覇市長 宛

令和 2 年 11 月 25 日

団体名 ビューローダンケ

代表者 渡久地 圭

担当者

新型コロナウイルス感染症対応『市民活動チャレンジ助成事業』

中間報告書

令和2年8月5日付、那覇市指令市ま第1372号で交付決定の通知を受けた当該事業について、下記のとおり報告します。

1.事業名	一千一秒物語 with コロナにおける新しい文化芸術のあり方
2.実施内容 (交付決定から現在までの実績を具体的に記入)	8月初旬より音楽リハーサル、また舞踊の振付・稽古を開始。 8/24～27は、作曲家も来沖しレッスンを受けてリハーサルを実施した。 9月に入っても県独自の緊急事態宣言が解除されず、公開での公演を非公開動画収録とし、その収録のための公開ゲネプロを実施することとした。 9/4 公開ゲネプロ実施。 9/5 動画収録実施。
3.これまでの活動の振り返り ・良かった点 ・工夫した点 ・不安な点 ・課題や反省点など	新型コロナウイルスの感染拡大状況が収束しないままの事業開始となったが、出演者・スタッフはこの状況下での創作活動の意義を真正面から捉え、リハーサルに臨んだ。 特に振付に関しては、琉球舞踊の様式とバレエの様式がいい意味でもぶつかりながら、協調点を見つけ出していく過程となり、非常に興味深くクリエイティブなシーンとなった。 コロナウイルス感染拡大の状況から本番を公開とすることは叶わなかったが、動画配信として届ける先がむしろ広がったこと、また公開ゲネプロに本助成事業関係者、文化振興課関係者などご来場いただいて、文化芸術が生活にもたらす効果やある意味効能に改めて触れたというような感想が寄せられた。
4.年度内の事業予定	現在、動画の編集中であり、年内に動画公開に至る予定である。 また、本事業から派生、展開して、自主公演(10/11)や、文化庁の支援を受けてのやんばるでの子ども向け公演の実施につながっており、事業の波及効果が生まれている。



バレエ、琉球舞踊のクリエイション



音楽リハーサルでは、音楽家への振付のアイディアも



作曲家を交えたリハーサル



演出コンセプトの最終版をプレゼン



本番中。照明の効果もしっかりと伝わった。



公開ゲネプロは関係者を招待して実施。感染症対策も施してのゲネプロとなった。

5. 写真
(レイアウト自由・
簡単な説明文を記入)